

人工知能技術コンソーシアム

2019 年度事業計画

1. 2019 年度の活動

我が国が掲げる Society5.0、サイバーフィジカル社会の実現を目指し、2015 年度に国立研究開発法人産業技術総合研究所人工知能研究センター内に設置した人工知能技術コンソーシアムとして、人工知能技術や IoT・ビッグデータ活用に関心のある複数の企業や地域の関係機関を集め、全体会議やテーマごとの集会においてビッグデータ活用の事例や人工知能技術の活用事例、動向の共有、意見交換、コンテストの開催及びプロジェクトや試行した結果の報告を行う。また同じ関心を持つメンバーから構成されるワーキンググループ(WG)を設け、各 WG 内で実証プロジェクトの立案、試行、協業を進めるなど、共創的価値創出を促進する。

2019 年度は、新たな WG や地域拠点となるグループ を設立し、会員組織間での共創的価値創出をより加速させるとともに、AI 技術やビッグデータ活用の社会実装とプロジェクトの試行事例を多く創出することを目指す。具体的には、多様な業種により構成された WG の中で、共通の課題を共有したサブグループをプロジェクトとして、データとニーズと技術シーズとのベストマッチングを模索し、ワークショップやコンテストを通じて具体的なアクションプランを作成する。このアクションプランを実施した結果をノウハウとともに整理、報告し、他の WG や地域のグループが参照できるようにすることで、AI 技術の社会実装の水平展開、加速度的普及を目指す。このようにして得られたコンソーシアムの活動成果は地域支部 WG におけるセミナーや、公開シンポジウム、Web ページなどを通じて外部発信し、人工知能技術の社会実装、Society5.0 の実現に向けた取り組みを促進していく。

2. 活動内容

コンソーシアムの活動内容は主に以下の 4 点である

① ニーズ・ユースケース、データと技術シーズのベストマッチング

法人会員がそれぞれの課題や強みを紹介し、お互いの理解を深める場として運営委員の承認を受けた WG を設立し、その中で参加会員間の協業の可能性とアクションプランの策定を行い、実証プロジェクトとして予算化し、体制を構築する。任意参加となる個別相談会の時間を設け、興味のある会員同士が協調、共創して各 WG の運営を進めていく。

② 人工知能技術とビッグデータ活用の実証と公募事業への提案、ビジネスモデル構築

人工知能技術とビッグデータ活用について、実証プロジェクトを具体化しフィールドの選定や実証実験を試行する。これにより成功事例や失敗事例についての検証をノウハウとともに報告する。さらにプロジェクトの大規模をはかり、公募事業への提案やビジネスモデルの構築も目指す。

③ 人工知能技術とビッグデータ活用に関するセミナー、情報共有及び共創的ワークショップ、コンテスト、展示イベントなどの実施

人工知能技術(AI ツールや AI リビングラボ、ビッグデータ活用など)に関するセミナー、情報共

有、共創的ワークショップ、ビジネスアイデアなどのコンテスト、展示イベントの場を提供する。

④ 外部向けイベントの実施

上記の会員向け企画の他にも定期的に外部向けにシンポジウム、セミナー等のイベントを企画・開催するとともに、Web ページなどを通じて広報活動も行うことで新規会員の獲得を目指す。

3. 活動計画

運営委員会ならびに各 WG 会合をおよそ 1 ヶ月に一回程度実施する。また全体会議(総会及び定例会)を年4回程度実施し、各 WG やプロジェクトの活動報告とコンソーシアム全体の運営に関する議論を行う。年に数回程度、外部参加者も交えた公開イベント、コンテスト、共創的ワークショップを開催し、各 WG やプロジェクトなどコンソーシアムの成果の発信を行う。

4. ワーキンググループ(WG)

各 WG は会員から構成メンバーを選出し、活動計画、予算案について運営委員の承認を得て活動を開始する。現在予定している WG は以下の通り。必要に応じて新たな WG を追加することもありうる。

- ・ Human Life WG
- ・ データ・知識融合 WG
- ・ データプラットフォーム WG
- ・ ものづくり WG
- ・ AIリビングラボ WG
- ・ AIツール WG
- ・ データマイニング WG
- ・ ユースケース WG
- ・ 医用画像 WG
- ・ 社会課題解決 WG
- ・ 深層学習 WG
- ・ 関西支部 WG
- ・ 九州支部 WG
- ・ 東海支部 WG
- ・ サイバーフード WG
- ・ 観光 WG(設立に向けて体制検討中)

5. コンソーシアムの運営

本コンソーシアムの運営委員会は以下から構成される。適宜追加されうる。

会長:本村陽一(産業技術総合研究所)

副会長:豊田俊文(東急エージェンシー)、武井明則(PwC ビジネスアシュアランス)、松岡竜大(シグマックス)

運営委員:西尾義英(シナジーマーケティング)、平林謙太郎(都築電機)、猪谷誠一(博報堂 DY ホールディングス)、杉山邦洋(ブイシネク)、鶴川健太郎(セック)、沖山翔(アイリス)、石田和宏(クリアタクト)、萩島功一(産業技術総合研究所)、高岡昂太(産業技術総合研究所)、岩本圭介(NTT データ数理システム)、玉川弘子(大阪商工会議所)、
吉永崇(九州先端科学技術研究所)、松村直樹(野村総合研究所)、伊藤晃人(ネクスコム)、渡辺健司(応用技術)

事務局:竹田会里(産業技術総合研究所)

6. 年間スケジュール(予定)

全体定例会 *詳細は別途 HP の新着情報に掲載

- ・ 第 1 回～ 第 3 回全体定例会 (開催日未定)
- ・ 総会、第 4 回全体定例会 (3 月)

外部向けイベントの開催予定

- ・ Smart Sensing 2019 出展 (6 月)
- ・ WG 見本市(4 月 26 日)
- ・ 各 WG 主催のオープンイベント

7. 収支予算

2019 年度予算は下記表の通り。

| 費目 | 金額 | 備考 |
|------------------|--------------|-----------------|
| 収入 | | |
| 会費 | 23,000,000 円 | 100,000 円×230 口 |
| 合計 | 23,000,000 円 | |
| 支出 | | |
| WG 活動費 | 14,840,000 円 | 内訳別表に記載 |
| 運営費(物品費、活動旅費、役務) | 8,160,000 円 | |
| 合計 | 23,000,000 円 | |

別表. WG 活動費

| 平成31年度 WG 予算計画 | WG 参加 法人数 | 計画予算 合計 | <内訳> 旅費・宿泊 費 | <内訳> 会議・ イベント費 | <内訳> 研究・開発 ・実証費 | <内訳> 備品・機材 購入費 | <内訳> 計算機利用料 |
|-------------------|--------------|------------|--------------------|----------------------|-----------------------|----------------------|----------------|
| Human Life WG | 8 | 60 万円 | 300 千円 | | 300 千円 | | |
| データ・知識融合 WG | 5 | 80 万円 | | 400 千円 | 400 千円 | | |
| データプラットフォーム WG | 3 | 150 万円 | 500 千円 | | 1000 千円 | | |
| ものづくり(製造業) WG | 35 | 100 万円 | 2000 千円 | 2000 千円 | 5000 千円 | 1000 千円 | |
| AIリビングラボ WG | 15 | 100 万円 | | | 900 千円 | 100 千円 | |
| AIツール WG | 6 | 100 万円 | | | 1000 千円 | | |
| データマイニング WG | 7 | 8 万円 | | 75 千円 | | | |
| 関西支部 WG | 18 | 111 万円 | 510 千円 | 600 千円 | | | |
| 九州支部 WG | 8 | 65 万円 | | 650 千円 | | | |
| 東海支部 WG | 25 | 100 万円 | 300 千円 | 400 千円 | 300 千円 | | |
| ユースケース WG | 7 | 70 万円 | | 200 千円 | 500 千円 | | |
| 医用画像 WG | 14 | 100 万円 | | | 900 千円 | 100 千円 | |
| 深層学習 WG | 15 | 100 万円 | 200 千円 | | | | 800 千円 |
| 社会課題解決 WG | 14 | 140 万円 | 300 千円 | 300 千円 | 500 千円 | 300 千円 | |
| 新規 2WG | - | 200 万円 | | | | | |